

第4学年1組 道徳指導案

令和3年6月29日(火)

指導者 T1 堀江 由佳

T2 伊藤由美子

- 1 主題名 一人一人の大切な考え
B(10) 相互理解, 寛容
- 2 教材名 「学級会での出来事」 (出典:「道徳 4」 光村図書)
- 3 ねらい みんなで話し合いをするときに, どんなことを心がければよいかについて考え, 自分とは異なる意見にも耳を傾け, よりよい関係性を築こうとする実践意欲と態度を育てる。

4 対話を通して考えを深め合う授業づくりをめざして

(1) 子どもが主体的に学習に取り組むための工夫

○課題設定と提示の工夫

この時期の児童は, 自分の考えをしっかりと伝えられるようになる反面, 自己主張も強くなる。そのため, 同じ思いを持つ友達同士でグループを作り, 違った立場や考え方について批判的になったり, 対立してしまったりすることも起こりがちである。

みんながより気持ちよく過ごすためにも, 自分自身の成長のためにも, 自分と異なる意見について, その思いや背景にあるものを考え, 自分の思いも伝えながら, お互いによりよい考えがもてるような態度を育てたい。

本学級では, 3年生の頃より, 終礼でその日の目当てが達成できたかを振り返ったり, 学級のみんが頑張ったことや友だちの良かったことを発表したりして, 見つけた数だけ大型ペットボトルにビー玉を入れることにしている。一本がいっぱいになるごとに, お楽しみ会をすることにしており, お楽しみ会で何をするかは, 毎回白熱した話し合いが繰り広げられる。学級会での一幕を描いた本教材は, 内容が想起しやすいと思われる。

授業の導入では, 今までのクラスの話し合いや友達と話していて意見が合わない場合にどうしていたかを振り返らせる。学級会に限らず, 友達同士での話し合いなどでも, 意見の決め方がどうであったかを思い出させる。普段の様子を引き出し, 様々な考えを出した後で学習に入りたい。

今まで子ども達は学級活動や学校生活を通して話し合いのルールについて学んできた。「みんなの考えをよく聞く」「自分の考えを分かりやすく話す」「よりよい意見を考える」など, 積み上げてきた力もある。しかし, 実際にはうまくいかなかったり, 話し合いで感情的になってしまったりすることも少なくない。ここでは, 教材を通して考える中で, 客観的に話し合いというものをとらえたり, 様々な立場で考えたりして, お互いの異なった考えを出し合い, 受け入れ合うことでよりよい考えが生み出せることに気づかせたい。

(2) 子どもが互いの考えを深めるための工夫

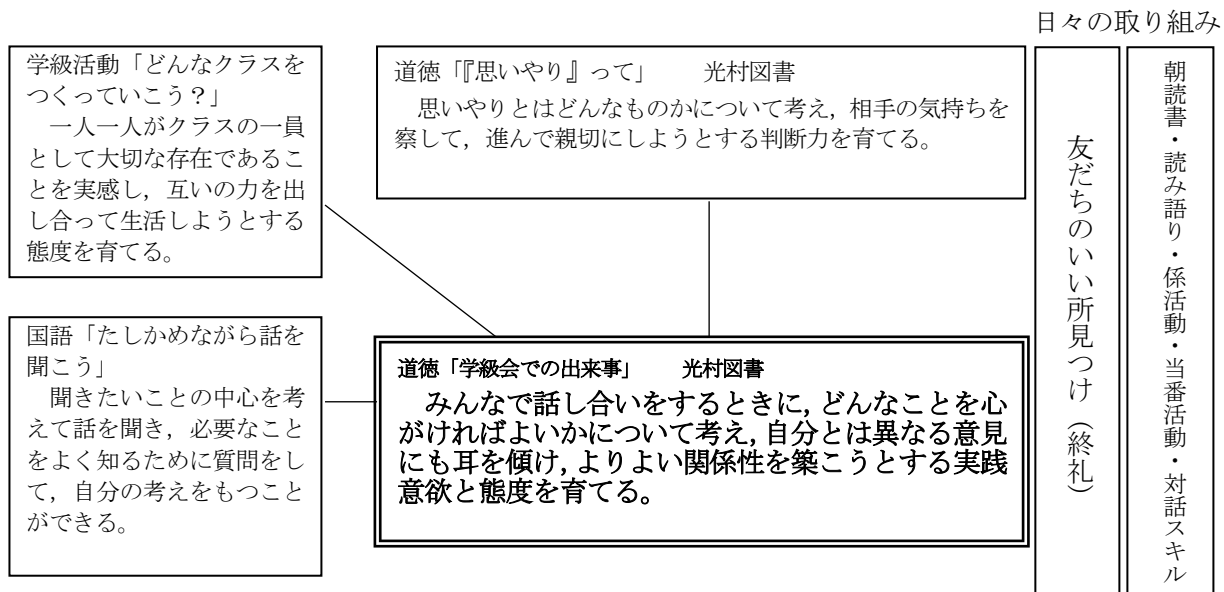
○学び合いを広げる場の工夫

「学び合う」では, 教材文のクラスの一員になって, 「自分だったらどんな立場で, どんな意見を言うか」を考えさせる。様々な登場人物に感情移入し, それぞれの人物を演じさせて, 多面的に考えさせる。さらに, その後の全体対話で友達の発言を聞き合うことで, 価値に迫るよ

うにしたい。

この学びを実際に学級会や日頃の話し合いに生かすためには、心構えだけではなく、実践力も必要になってくる。そこで「深める」では、具体的な態度や話すときの技能についても考えたい。話し合う中で様々な意見を出し合い、お互いの気持ちが伝わり合う話し方、聞き方を確認したい。相手に思いがきちんと伝わるような話し方、相手の思いをきちんと受け止められるような聞き方。さらに、相手が話したくなるような態度や聞きたくなるような態度。それらを考え、自分の思いだけで一方的にならずに、相手といっしょに考えるということを意識させたい。

5 指導計画



6 本時の学習

(1) 対話場面でめざす子どもの姿

登場人物になって発言をしたり友だちの発言を聞いたりしながら、みんながそれぞれの考えのよいところを認め合い、話し合いをしていくことが大切であると考えている。

（自己内対話、全体対話）

(2) 展開

	学習活動と予想される児童の反応	教師の指導と支援（・）評価の視点（★）
つかむ	<p>1 今までクラスの話し合いや、友達と話していて意見が合わない時にどうしていたかを振り返る。</p> <p>○今までクラスの話し合いや友達と話しているときに意見が合わない時はどうしていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数決で決める。 ・じゃんけんで決める。 ・順番に意見を通す。 ・なんとなく、強く言う人に従う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材への興味付けを図るために、自分たちの話し合いでの意見の決め方が、これまでどうであったかを振り返るように促す。(T1) ・児童が、学習に向かいやすいよう、様子を見ながら寄り添ったり、声をかけたりする。(T2)
	<p>めあて みんなが気持ちのよい話し合いをするには、どんなことが大切か考えよう。</p>	

考
え
る

- 2 「学級会での出来事」を読んで話し合う。
- ① どんな出来事が起こったのか、みんなで確認する。

② あなたが、このクラスの一員になったら、どうしますか。その子になって、考えてみましょう。

○ワークシートに自分の考えを書く。
(自己内対話)

- ・あずささんみたいに言われたらいやだから、言えない。
- ・みんなが好きなら、ドッジボールがいいと思う。でも、本当にみんなが好きなのかな。
- ・やっぱり歌がいいと思うな。
- ・どうせ言っても聞いてもらえないよ。
- ・よしき君達を注意したい。

○考えたことを伝え合う。(全体対話)

- ・まず、1組が実演し、演じた感想や見た感想を伝え合う。その後、クラスの一員になって、それぞれの考えを発表する。

《予想される対話》

- ・本当は、違う意見が言いたいけど、あずささんみたいに反対されたらいやだなあ。
- ・私も歌の集会がいいです。でも、うまく言えないなあ。
- ・これで決まっちゃったらいやだなあ。
- ・ぼくは、ドッジボールがいいと思う。だけど、ちゃんとあずささんや、みんなの話も聞いたほうがいいよ。
- ・よしき君達、そんな言い方はいけないと思うよ。
- ・わたしは、あずささんは、わがままじゃないと思う。自分が好きなことを言っただけだよ。

- ・どの場面のだれの思いなのかを考えやすいように、電子黒板にアニメーション化した動画を流す。(T1)
- ・話の内容を確認しながら、黒板に登場人物の絵を貼る。(T1)

《教師のコメント》

- ・みんな、だまってしまったね。本当に、何も意見がないのかな？
- ・みんなは、何か言いたいことがあるのに、言えないでいることを押さえる。(T1)

- ・児童が自分事としてとらえられるよう、お互いに、このクラスのどの子かになりきって、意見を言い合うことを伝える。(T1)
- ・一人で考えるのが難しい場合は、ペアで相談してもよいことを伝える。(T1)
- ・全体対話を通して考えが深まるよう、児童の考えを見取しておく。(T1・T2)

《教師のコメント》

- ・なんで、そう思ったの？
- ・「言えない」って思うんだね。それは、どうして？
- ・これいいね、ぜひ発表してね。
- ・このクラスの一員になったつもりで自分たちの考えが言えるよう、登場人物や見ていたクラスの子の似顔絵を用意する。自分はどの立場の考えなのか分かるよう、黒板に、児童の名札とともに貼り、意見を整理する。(T1)
- ・児童の発表をつなげやすいよう、クラスの一員になって役割演技に加わる。(T2)

《T2の役割演技》

- ・何も言わないということは、みんなドッジボールに賛成じゃないの？
- ・早く、多数決しようよ。
- ・さっきは、何も言わなかったのに、今ごろ考えを変えるのは、ずるいよ。
(子ども達をゆさぶり、それぞれの立場の考えを出せるようにする。)

	<div data-bbox="261 219 836 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・歌が好きな人も、ドッジボールが好きな人もいていいと思うよ。 ・多数決をする前に、もっとみんなが理由を言ったほうがいいよ。 ・もう1回、ちゃんとみんなで話し合ったほうがいいよ。「みんながもっと仲よくなるためのお楽しみ集会」なんだから。 </div>	<div data-bbox="868 219 1382 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《教師のコメント；T1》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの意見、どう思う？ ・〇〇さんに賛成の人いる？ ・じゃあ、どう言ったらいいのかな？ ・どうしたら、みんなが気持ちよく話し合えるのかな？ <p>(子どもの言葉をつなぎ、多様な意見を引き出すようにする。)</p> </div> <p>★役割演技や友達との考えの交流を通して、さまざまな立場からの感じ方や考え方があることを知り、受け止めようとしている。(発言、様子)</p>
<p>深める</p>	<p>3 自分たちのことに引き付けて考える。</p> <p>○これから、話し合いをするときには、どんなことを大切にすればよいと思いますか。</p> <p>○自分の考えを短冊に書く。(自己内対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数決だけで決めたり、自分の考えと違うからって、悪口を言ったりしてはいけない。 ・怒ったり、怖い顔をしたりしない。 ・お互いの意見をまずきちんと最後まで聞く。 ・相手を見てうなずいたり、あいづちをうったりするといい。 ・いろいろな意見を聞いてから話し合うようにする。 ・違う意見の人が納得できるように、説明をする。 <p>○考えを交流し合う。(全体対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ黒板に短冊をはる。 <div data-bbox="261 1503 836 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《予想される対話》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多数決をすぐしない。」に賛成。まず、みんなの考えを聞いたほうがいいと思う。 ・違う意見でも、すぐ反対したりしないで、相手の理由を聞いたほうが、気持ちいいね。 ・ちゃんと自分の考えを聞いてもらえると、安心できるよ。そのあと、じゃんけんや多数決をすれば、納得できるよ。 </div>	<p>全体発表の場で提示しやすいよう、記入する用紙、ペンを準備する。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入で振り返ったこれまでの話し合いでの意見の決め方が適切なものであったか考え、どのように改められるかなど、様子を見守りながら、助言する。(T1・T2) <div data-bbox="868 1128 1382 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《教師のコメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こういう話し合いをするときに大切にしたいことは何かな？ ・なぜ、そうした方がいいの？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と友達の見解を比べ、似ているときはつなげたり、重ねたりしてよいことや、考えが変わったときは、書き直してもよいことを伝える。(T1) <div data-bbox="868 1592 1382 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《教師のコメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に思い出した普段の自分と比べてみてどうかな。 ・はじめに考えていたことと変わってきたね。なぜ変わったのかな。 ・本当にこういう話し合いができるかな？やりたいと思ってもできないのは、なぜかな？ <p>(自分事としてできるかコメントする。)</p> </div>

<p>生 か す</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 今日の学習で学んだことや、これから生かしたいことをワークシートに書きましょう。 (自己内対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも自分は、多数決で多い方に決めればよいと思っていたけれど、これからは、少ない方の意見も聞いてからにしようと思った。 ・これからは、すぐに反対しないで、まずは、うなずいて聞きたい。その方が、気持ちよく話し合えるから。 ・今までだまっていることが多かったけど、これからは、自分の意見をできるだけ言いたいな。言わないと分かってもらえないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分の経験を想起し、今日の学習で自分はどう考えたか、どう改善を目指すか考えられるよう伝える。(T1) ・数名を指名して、クラスで考えを共有し、今後の意欲付けを図る。(T1) <p>★自分の経験を想起しながら、自分とは異なる意見について耳を傾けることのよさや難しさを感じ取っている。 (発言、様子、ワークシート)</p>
----------------------	--	--